

実践公開校

白田小学校

メディアセンター版草笛号
～誰かの移動図書館員～

「草笛号」は1972年に運行を開始した移動図書館車です。
現在も佐久市民の読書環境を支えています。

白田小学校には、白田図書館から図書館職員や地域の方々が、子どもたちのために選んだおすすめ本を届けてくれます。6年生の子どもたちはそのお礼として、『ぼくのブックウーマン』に登場する「お礼のレシビ」に代わり、白田図書館の蔵書やデジ図書信州から地域の方々におすすめしたい本（紙・電子媒体）を選び、パンフレットを作成して白田図書館に展示します。この活動を通じて、白田図書館やデジ図書信州を介し、地域と小学校が本を通じてつながる「メディア

センター版草笛号」という白田地区に新たな文化を創造していきます。
当日、子どもたちは、白田図書館のどこに、どのような方法で展示するかを考えながらおすすめ本のパンフレットの作成をしています。

当日、公開する新設された白田小学校の図書館は、2階からもアクセスでき、背の低い本棚が並ぶ、子どもたちの目線に合わせた、あたたかく開かれた空間です。



浅間中学校

図書館の魅力発信「読書フェア」
おすすめ本を紹介しよう「ビブリオバトル」

○ 図書委員会では、本の貸出・返却等といった当番活動や、学級での朝読書の呼びかけを日常活動として行っています。また、「本に親しむ機会をつくり、学校生活をより豊かなものにしてほしい」という願いをもって、年2回の「読書フェア」を行い、図書委員が、おすすめの本のPOPを作成して展示するなどしています。当日は、「読書フェア」中の図書館や委員会活動の様子を公開します。

○ 国語では、学校図書館にある本の中から自分のおすすめ本を探し、その本を紹介する「ビブリオバトル」を行います。どの本が一番読みたくなったかを投票し、チャンプ本を決めます。当日は、授業の様子を映像・写真で公開します。



佐久平浅間小学校

学級の宝活動

～佐久の昔話を伝えよう～

本校の中核活動「学級の宝活動」。2年4組は～佐久の昔話を伝えよう～をテーマに探究的な学びに取り組んでいます。地域に伝わる昔話を知ることからスタートし、どう伝え残していくかを考えています。本時では、昔話を劇にして伝えようと考えた子どもたちが、いつもお世話になっている読書ボランティアの方の力を借りながら劇を完成させていく場面をご覧ください。

この活動のために特別に準備されたボランティアではなく、開校時から図書館教育の中核となる活動として位置づけられ、ご協力いただいているボランティアです。学級担任や図書館司書のみならず、地域とつながる日常の佐久平浅間小学校の子どもたちの様子をご覧ください。



白田中学校

本校では、生徒会図書委員会が生徒の読書生活の向上に向けて、大変意欲的に活発な活動を展開しており、大会当日は、図書委員会の生徒集会での発表場面をご覧いただく予定です。内容としては「あなたが幸福(しあわせ)を感じるのはどんな時？」というテーマを設け、図書委員会や先生方からの幸せをテーマにしたお勧め本の紹介、「幸福の王子」(オスカー・ワイルド作)の読み聞かせ(図書委員による朗読劇)を行います。

他にも、多読者ランキング、白中生の人気本ランキングの紹介も行う予定です。本の貸し出し数増加に向けて本校で日常的に行っている図書委員会の活動の一端を紹介させていただきます。



中佐都小学校

自分の好きな本を紹介しよう ～ビブリオバトル～

○ 興味を引きつける本の紹介

児童玄関設置のテレビに、新着本の紹介スライドを流しています。教室と離れたところにある図書室への興味を引く工夫です。

○ 図書委員会の企画

「雨の日サービス」「しおりコンテスト」等の企画を児童会主体で企画しています。

〈本時に関わって:4年〉

① 充実した読み聞かせの時間

PTA親子文庫部・やまぼろしの会・読み聞かせの会の三つの団体が読書活動に関わってくださっています。当日は、読み聞かせの会の方が読み聞かせをしてくれます。

② 自分の好きな本をポップや帯を活用しながら紹介し合うビブリオバトルを行い、アウトプットする力や表現力を育みます。本の内容だけでなく、「その子らしさ」がにじみ出るので、聴く側もわくわくします。



令和7年11月7日(金) 各公開校、佐久平交流センター

8日(土) 佐久平交流センター

申し込み期間: 令和7年9月26日(金) 参加費: 一般2,000円

お問い合わせ、申し込み: 第75回長野県図書館大会・第33回北信越地区学校図書館研究大会事務局 Tel:0267-67-2111 mail:75lib33hokushinetsu@city.saku.nagano.jp

